

我孫子市教育委員会 あて

我孫子市立我孫子第四小学校学校運営協議会

令和4年度 第3回 学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定について、次のとおり報告します。

(令和4年11月29日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1 報告及び協議 (1) 第3学期の 経営方針 (2) 第2学期の教育 活動について	校長	引き続き、感染症対策を講じながら、教育活動を行っていく。6年生を送る会や卒業式についても感染症の状況を見ながら実施内容を検討する。卒業式には、保護者2名の参加を実現したい。
	教務	スライド資料を使って、第2学期10月からの教育活動を報告。
	委員	修学旅行については、今後も日光で行うか。
	校長	教育的効果や距離、宿泊施設等を考慮し、今後も日光で行う予定。
	委員	6年生の国会見学は1学期に変更になっているが、教科書が改訂され、学習時期が1学期になったため、学習効果を高めるためにも1学期に変更した。
	教務	コロナ対策について、世間では緩和の動きもみられるが学校ではどうか。給食時の様子、マスクの着用についてはどうか。
	委員	ガイドラインに沿って行っている。給食は、今のところ一方向、黙食を継続している。マスクの着脱については、体育や登下校では外すなど、場面に応じて指導している。
	教頭	さわやかコンサートについて、合奏のみで、参観時間が短く、残念だったとの声か聞かれた。
	委員	今年度は、感染症対策のため、合奏のみとした。保護者の参観も体育館の収容人数の関係で在籍学年のみとなり、鑑賞時間も短くなってしまった。
	教頭	次年度は、合唱も検討している。また、鑑賞時間についても検討したい。
委員	本日の持久走大会では、行事を成功させようというPTAの協力を強く感じた。地域との連携は不可欠でこれからも大切にしていきたい。	

(3) 学校評価 アンケートについて	教頭	学校の教育活動や運営について、組織的、継続的に改善を図るために実施する。今年度、各中学校区が小中一貫教育の充実に努めているかを測る項目が追加された。	
	委員	小中一貫教育の項目は、市内統一のものか。	
	校長	小中一貫教育に関する4項目の内1項目は、市内統一の項目。その他の3項目は、各学校が行っている具体的内容となっている。	
	委員	教育相談月間の項目があるが、ヤングケアラーの実態は把握できているか。	
	校長	ヤングケアラーについては、「いじめアンケート」に記述できるようになっている。ヤングケアラーとは何かを児童に説明し、回答を求め、実態を調査している。	
	委員	児童用の学校アンケートの匿名性について。	
	教頭	アンケートに記名は求めている。ただ、児童が教職員に誰が書いたのか知ってほしい場合は、記名できるようにしている。	
	(4) 意見交換	委員	部活動の時間が縮小されているが、今後はどうか。
		校長	我孫子市の部活動ガイドラインとして、週3回までと決まっている。地域移行への準備や働き方改革が基になっている。
		委員	競技によっては地域に受け皿がなく、部活動が果たしてきた役割は大きいと感じる。
委員		地域の公園では、ボールが使えないなど、自由に体を動かす場所がない。	
委員		白山中では、英語教育の充実に目指し、海外の学校とオンラインで結び、交流を行った。	
(5) 今後の予定	委員	子供たちにとっては貴重な経験。コロナ禍でもできることの典型的な例。	
	委員	中学受験をする児童は増えているか。	
	教務	教育に関心が高い保護者も多く、多くの児童が中学受験をする。	
	委員	今後も中学受験者は伸びていくといわれている。報道などからも、関心の高さがうかがえる。	
	委員	今後も学校には、子供ファーストの視点で教育活動の充実に努めていただきたい。	
	教頭	第3学期の主な行事予定について 第4回学校運営協議会について 白山中区3校合同で行う。	